



岡本 重明
青嵐会



平和教育についての市の考えは

平和的な国際社会の実現に貢献できる人間を育成する

平和教育とA Iを利用した授業における危険性について

問 先の大戦から学ばせたいことは。

答 学習指導要領にある通り、第二次世界大戦の背景として、経済の世界的混乱や社会問題の発生などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、第二次世界大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと。

問 戦争に至った要因をどのように学ばせているか。

答 イギリスやフランスがドイツに宣戦布告をし、第二次世界大戦が始まったことや、日米交渉の決裂など日本が戦争をする前にあった事実について、教科書を基に学習している。

問 世界中の人々と共に生きていく子どもを育むための本市の平和教育についての考えは。

答 発達段階に応じて人権の意義、内容や重要性を理解し、自分の大切さと他の人の大切さを認めることで、平和的な国際社会の実現に貢献できる人間を育成できると考えている。

問 平和的な国際社会の実現に貢献できる人間を育成するための市の取り組みは。

答 教師はさまざまな視点と立場から多面的・多角的に考える思考力や判断力等を高めている。そこで、基本的人権の尊重という観点から、人権教育、環境教育や国際理解教育などを教育活動全体で取り組み、実践的な態度を育んでいる。

問 歴史や公民の授業等でのA Iの利活用に対する市の考えは。

答 A Iが蓄積した情報の信頼性への懸念、偏見や差別等の偏りをそのまま再生することなど、さまざまなリスクが指摘されている。特に歴史や公民等の授業において、A Iを利用することは、慎重かつ適切なルールが必要と考えている。

問 A Iを利用することに対する危険性について、市の考えは。

答 文部科学省の生成A Iの利活用に対するガイドラインには、教師が専門性を発揮し、人間的な触れ合いの中で行うべき教育指導を実施せずに、生成A Iのみに相談させることなど、不適切な例が挙げられており、本市においても、このガイドラインに沿った利活用を考えている。



令和8年第1回定例会（3月議会）会期

3月2日(月)～3月23日(月)

日	月	火	水	木	金	土
3/1	2	3	4	5	6	7
	本会議 (施政方針・議案審議)		本会議 (代表質問・一般質問)	本会議 (一般質問)		
8	9	10	11	12	13	14
	文教厚生委員会 総務産業委員会		予算決算委員会			
15	16	17	18	19	20 春分の日	21
	議会運営委員会					
22	23	24	25	26	27	28
	本会議 (採決等)					

開会時刻は10時です。(3月9日の総務産業委員会と3月13日の予算決算委員会は13時30分からです。)

※日程および時間は、変更になる場合があります。

マークの日に、施政方針および一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。